

## 電気料金の再値上げに対する申し入れ

関西電力株式会社

代表取締役社長 八木 誠 様

昨年の株主総会において、電気料金の再値上げをしないよう強く要望したにもかかわらず、この短期間のうちに2度の値上げを実施したことは、大変遺憾である。

今回の再値上げにより、市民生活や中小企業をはじめとする市内事業者の経済活動に深刻な影響が及ぶことは明白であり、関西全域の地域経済へも重大な影響が予想される。

再値上げの認可にあわせ、「徹底した経営効率化に最大限の努力を積み重ねながら、安全性が確認された原子力プラントの一日も早い再稼動を実現し、電気料金の値下げを行う」との考えを示されたが、いまだ原子力発電所の再稼動時期は不透明な状況であり、市民や事業者の不安感は増大する一方である。

市民の安全安心な暮らしと、市内事業者の活発な経済活動を守るためには、技術革新による既存発電所の高効率化や多様なエネルギー源の活用による安全で安定的な電力供給の実現、さらには聖域なき効率化と経営基盤の強化による経営の安定化が不可欠である。これらの課題に対し、相当の決意と覚悟を持って関西電力としての到達目標ならびに目標達成までの道筋を明示し、一刻も早い電気料金の低廉化と、安全かつ安定的な電力供給を実現するよう、電気料金の再値上げに際して強く申し入れる。

平成 27 年 6 月 1 日

神戸市長 久元 喜造